

各分野における平成27年度の取組実績について

※評価が「遅れている」取組をピックアップ【原因及び課題（分析）、今後の対策（改善）】

- 1 農業分野 1ページ
- 2 林業分野 2ページ
- 3 水産業分野 3ページ
- 4 商工業分野 4ページ
- 5 観光分野 5ページ

平成27年度の取組実績【農業分野】 ※評価が「遅れている」取組をピックアップ

達成・概ね順調・遅れている

戦略の柱	具体的な取組	具体的な成果等	評価	原因及び課題(分析)	今後の対策(改善)
基盤整備・防災	◆農業生産基盤の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・県防災減災事業 基幹水利施設補修事業費負担金 排水機場施設整備【江見・吉原排水機場】 ・物部川統合堰整備事業 ・烏川流域、香宗川流域、山北川流域堰整備事業 ・農業基盤整備促進事業 【岩田堰袋体据付】 ・工業用水道整備事業 【測量設計:水路3路線・農道1路線、水路工事:1路線】 ・農業集落排水整備(上岡地区集落道改良他道路、水路工事) 【水路2路線】 	<ul style="list-style-type: none"> ・排水機場施設整備 【江見排水機場:電気工事完了】 【吉原排水機場:県の予算により28年度予定】 ・物部川統合堰【残っている幹線水路の調査等】 ・烏川統合堰【測量設計完了】 ・農業基盤整備促進事業 【岩田堰袋体据付は予算の範囲内でゴム袋体の据付を完了】 ・工業用水道整備事業 【測量設計:4路線、西中筋6水路工事:1路線】 ・農業集落排水整備(上岡地区集落道改良他道路、水路工事) 【水路2路線】 	遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年各事業に伴う要望計画を上げているものの、予算割当については防災関連事業が優先となっており当事業関係の予算割当について大幅に減額となっており事業実施が遅れている。 ・同上 ・同上 ・同上 ・市単独事業での実施に伴う実施予算確保や地元調整の遅れ ・同上 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、管理計画の見直しにより県と協議を行いながら補助金予算要望を行っていく。 ・同上 ・同上 ・同上 ・地元協議調整を行いながら要望箇所の早期竣工に向け取り組んでいく。 ・同上
	◆防災への対策 <ul style="list-style-type: none"> ・農村災害対策整備事業 【香南南部:避難タワー】 ・排水機場耐震機能診断(耐震機能診断及び補強工事) ・重油流出防止付装置燃料タンク整備事業 【流出防止燃料タンク19基】 	<ul style="list-style-type: none"> ・農村災害対策整備事業 【県と地元地権者と用地交渉】 ・排水機場耐震機能診断(耐震機能診断及び補強工事)【H28以降】 ・重油流出防止付装置燃料タンク整備事業 【流出防止燃料タンク19基】 	遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ・地元交渉に不測の日数を要し工事までの着手が遅れている。 ・県予算における排水機場施設修繕の全体的な遅れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元等と密に協議しながら県と連携して早期着手に向け進めていく。 ・県と連携して計画等を協議しながら事業着手に向け進めていく。

平成27年度の実績【林業分野】 ※評価が「遅れている」取組をピックアップ

達成・概ね順調・遅れている

戦略の柱	具体的な取組	具体的な成果等	評価	原因及び課題(分析)	今後の対策(改善)
基盤整備 森林資源保全	◆森林の多面的な利活用の促進 ・緊急間伐総合支援事業 【切捨間伐(5ha)】 【保育・搬出間伐(57ha)】 【作業道整備(3,300m)】	【切捨間伐(0ha)】 【保育・搬出間伐(15ha)】 【作業道整備(1,880m)】	遅れている	・事業実施の際、当初の計画エリア内の参加者同意が一部の山林所有者から得られず規模縮小となったことが原因である。 山林所有者が死亡しており相続登記ができていないため、現所有者の確認が困難なケースが多い。	・調査により同意が得られなかった山林所有者に対して事業自体を解りやすい十分な説明により理解してもらうことでエリア拡大につなげ、施業集約化に結びつけていく。
	・森林整備地域活動支援事業 【森林経営計画作成促進(203.75ha)】 【施業集約化(10ha)】 【条件整備(224.97ha)】	【森林経営計画作成促進(81.51ha)】 【施業集約化(5ha)】 【条件整備(76.05ha)】	遅れている	・事業実施の際、当初の計画エリア内の参加者同意が一部の山林所有者から得られず規模縮小となったことが原因である。 山林所有者が死亡しており相続登記ができていないため、現所有者の確認が困難なケースが多い。	・調査により同意が得られなかった山林所有者に対して事業自体を解りやすい十分な説明により理解してもらうことでエリア拡大につなげ、施業集約化に結びつけていく。

平成27年度の取組実績【水産業分野】 ※評価が「遅れている」取組をピックアップ

達成・概ね順調・遅れている

戦略の柱	具体的な取組	具体的な成果等	評価	原因及び課題(分析)	今後の対策(改善)
経営基盤強化	◆漁業者の所得向上 ・操業効率化を図るため衛星通信機器の整備、保守管理(県漁協手結支所) ・操業効率化を目的としたエンジンリース事業の実施(県漁協手結支所) ・産業振興計画推進水産部会での所得向上に向けた協議(1回)	・適切な維持管理による通信料の節約、漁場探索時間の短縮等、操業効率の向上 ・燃油消費量の削減(リース件数1件) ・水産部会においてシラス漁業における様々な問題点、課題が話し合われ、今後の取組への指針となる シラス分科会の開催(1回)	遅れている	・種子島周辺漁業対策事業による衛星通信機器の整備完了 ・H27年度におけるエンジンリースの事業計画(1件)については、「達成」されており、今後も漁業者のニーズの把握に努め、補助事業への要望を継続する必要がある ・シラス漁における所得向上対策については、水産部会において問題点等話し合われ、取り組まなければならない施策として位置づけられる。具体的な取組までには至っていないが、実現に向けた協議を今後も漁協、漁業者、加工業者と重ねていく必要がある	・【エンジンリース事業】沿岸漁業者設備投資促進事業への要望継続 ・【シラス漁における所得向上】漁協、漁業者、加工業者との連携の強化を図り、問題点等の解消や所得向上策の取組実現に向けた協議をシラス分科会において検討する(加工技術の向上・販路の拡大・沖止めの解消や操業時間の見直し・鮮度保持の向上等)
	◆観光漁業の推進 ・観光曳き網案内板の設置	・観光曳き網案内板を1基新設した	遅れている	・観光分野や農業分野との連携が弱く、地引き網や釣り船を上手く観光資源として活用できていない ・地引き網の従事者は高齢化や人手不足により継続が難しくなっている	・地引網や釣り船等多角的な漁業経営への支援 ・観光、農業分野等関係機関との連携強化 ・観光漁業としての情報発信の強化
生産・加工・流通・販売	◆水産加工品流通販売の促進 ・小中学校での食育授業実施、学校給食での地場水産加工品の活用 シイラ加工品の納入(19回) ・小学生を対象とした体験学習の実施(地引き網体験、魚の三枚下ろし)	・学校給食への加工品の納入(19回) ・体験学習を通じた次世代の地場漁業への理解の向上	遅れている	・食育授業や体験学習は継続して実施されており、県漁協手結支所のシイラ加工についても学校給食等への納品が増加し、概ね順調に推移している ・新たな水産加工品の事業化においてシラスの加工を想定しているが、実現にはまだまだ時間の掛かる状況。所得向上対策と合わせて、今後協議を進めていく必要がある ・シラスを給食の食材として提供するため異物除去装置が必要(農林課の事業により導入を計画したが、断念)	・【地産地消推進事業】市民への普及啓発と食育授業、体験学習の強化 ・【地場水産加工品等推進事業】シイラの加工商材はさらに付加価値を向上させ、漁業経営の安定化を支援し、シラス加工品の新たな事業展開においては、所得向上対策の協議の場で合わせて検討していくこととする シラスを給食食材として導入するため異物除去装置の導入に引き続き取り組む

平成27年度の実績【商工業分野】 ※評価が「遅れている」取組をピックアップ

達成・概ね順調・遅れている

戦略の柱	具体的な取組	具体的な成果等	評価	原因及び課題(分析)	今後の対策(改善)
商業支援	◆魅力のある商業地・商店街づくり ・香南市地域経済活性化委員会において、商工会が取り組む新たなポイントカード事業と行政が行う各種事業(検診など)との連携について検討してきた。(9/8、9/22、10/22開催)	・関係者と協議を重ねた。	遅れている	・香南市の商店街は、ひとつの「商店街」としては国の補助制度の対象にならない(赤岡、野市、夜須に点在しているため)という理由でH27年度の補助申請は見送り、他の補助制度を検討することになった。 ・利用できそうな補助制度はあったが、申請可能な団体が「商工会」もしくは「1年以上活動実績がある団体」ということで、どちらで申請をするのか委員会で検討中。	・申請団体や事業内容等、委員会での検討を継続する。 ・実際に加盟してくれる事業所がどれくらいあるのか、前回のアンケート実施から2年経過しているため、再度ニーズ調査を行う。 ・国がマイナンバーカードを民間企業のポイントカード等のサービスと連携するような仕組み「マイキープラットフォーム」の構想を打ち出したことにより、今後の国の動向を踏まえた仕組み作りの検討を行う。
	◆空き店舗等の活用 ・事業承継や既存事業所の経営状況の把握、空き店舗対策(実態把握及び活用策)等を実施する「経営発達支援計画」を作成したが、国の認定が下りていない。	・計画作成に尽力した。	遅れている	・商工会が作成した「経営発達支援計画」の認定が下りなかったため事業を実施できなかった。	・「経営発達支援計画」の認定に向けて取り組む。 ・H28年度は、県と市の補助制度を利用して空き店舗等調査を実施する予定だったが、商工会から、自己負担分(事業費の2分の1)の予算確保が難しいという申出があり、実施困難な状況となっている。
	◆創業支援 ・地域の創業を促進させるため、市区町村が民間の創業支援事業者(地域金融機関、商工会等)と連携して、ワンストップ相談窓口の設置や創業セミナーの開催等の創業支援を実施する「創業支援事業計画」を作成中。(創業準備事業者は、開業に係る経費に対して、国から補助金を受けられる)	・計画作成に尽力した。	遅れている	・関係団体(創業支援事業者)との協議時間を取ることができなかった。	・商工会等との連携を密にし、今年中の認定に向けて取り組む。

平成27年度の実績【観光分野】 ※評価が「遅れている」取組をピックアップ

達成・概ね順調・遅れている

戦略の柱	具体的な取組	具体的な成果等	評価	原因及び課題(分析)	今後の対策(改善)
広域観光の推進	<p>◆サイクリング事業</p> <ul style="list-style-type: none"> サイクリング専門委員会を設置し、サイクリングコースの設定作業がスタート(1/15) 	<ul style="list-style-type: none"> サイクリングロードの整備に向けて検討中。 既存の安芸自転車道(香南市管内)については、県へ舗装の補修を要望し、工事を実施。 	遅れている	<ul style="list-style-type: none"> 市としては、県へサイクリングロードの整備に係る要望及びコース設定などの具体案を示しているものの、作業が遅れており、県の作業スケジュールと連動する必要があるため、進められなかった。 予算措置がなかったため、予算を伴う事業ができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度では、予算化され県のスケジュールも明示されおり、県の取組と同時に連携して進めていく。